

廃校からの転身！学校跡地の有効活用（沖縄県今帰仁村）

取組概要

廃校となった学校跡地の有効活用

全国的な少子化の流れの中、本村においても少子化が進み、小学校、中学校の統廃合が段階的に行われてきた。廃校となった学校跡地の有効活用を図り地域活性化につなげるため、外部有識者、地元住民、行政から構成される審議会を設置し、利活用を希望する民間事業者の募集及び選定を行った。事業者の選定にあたっては、地元住民の要望を含め、地域交流と村の掲げる農業振興、観光振興の方向性と合致する事業者を選定した。

人口 9,616 人

担当 企画財政課

取組の効果

今帰仁村らしさと体験学習の場

事業者による村内での自社農園栽培有機野菜の販売、加工食品販売にレストランでの食材使用で、安心・安全な食を提供することで、「農業立村今帰仁」のPRに一役を担っており、自家菜園や小動物とのふれあいができるため、来訪者には本村の豊かな自然とともに癒しの場となっている。

また、村内小学生の食育学習の場であり、村内ヘルスツーリズムの活動の場ともなっている。



村内小学生の食育学習（味噌作り体験）

創意・工夫した点

- 学校全体を一つの事業者へ貸与し運営してもらった。
- 審議会には地元の住民代表に委員として参画してもらい、地元の声を反映させた。
- 事業者選定には、客観性を保つために評価書での得点の他、議論の場を設けることで総合的な評価を行った。

他団体へのアドバイス

行政と民間の協働

行政と民間が協力して地域にあった事業者を選定することができ、選ばれた事業者が継続的に努力し発展していることが先進事例として注目されている理由だと考える。



ヘルスツーリズム（トランポリン）